



平成30年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月13日

上場会社名 アライドテレシスホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 6835 URL <http://www.at-global.com>

代表者 (役職名) 代表取締役会長

(氏名) 大嶋 章禎

問合せ先責任者 (役職名) IR室長

(氏名) 増田 晴美

TEL 03-5437-6007

四半期報告書提出予定日 平成30年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第3四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第3四半期	20,299	△3.9	16	△96.3	△256	—	△407	—
29年12月期第3四半期	21,115	△0.5	441	—	119	—	354	—

(注) 包括利益 30年12月期第3四半期 △431百万円 (—%) 29年12月期第3四半期 276百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第3四半期	△3.72	—
29年12月期第3四半期	3.25	3.24

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第3四半期	22,035	4,077	17.3
29年12月期	20,992	4,476	20.0

(参考) 自己資本 30年12月期第3四半期 3,815百万円 29年12月期 4,199百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年12月期	—	0.00	—		
30年12月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

当社グループは、現在23か国に連結子会社を保有し事業を展開しております。そのため、昨今の為替相場の急激な変動や米政権の保護貿易による世界経済への影響などから、当社グループを取り巻く事業環境が短期的に大きく変動するリスクがあります。このため、当期の業績予想につきましては、現時点(平成30年11月13日)で合理的な算定が困難であるため、公表を行っておりません。なお、業績予想の開示が可能となった場合には、速やかに開示する予定です。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年12月期3Q	109,632,545 株	29年12月期	109,079,545 株
② 期末自己株式数	30年12月期3Q	186 株	29年12月期	152 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年12月期3Q	109,493,373 株	29年12月期3Q	109,059,408 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当期の業績予想につきましては、現時点において未定としています。

(詳細は、[添付資料]P. 3「1. (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。)

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成30年1月1日～平成30年9月30日）における当社グループは、持続的な成長と安定的な収益確保を目指し、市場ニーズを捉えた製品開発に取り組みつつ、高付加価値製品やサービスの拡販並びにエンドユーザーへのダイレクトタッチによるソリューション営業を強化してまいりました。また、「セキュリティ」及び「ワイヤレス」をキーワードとした新製品・新技術の普及・販促活動を積極的に行うと共に、日本や海外の成長市場で営業拠点増設や人員増強を実施しました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、営業体制強化策の効果が現れるには今しばらく時間を要することから、売上高は202億99百万円（前年同期比3.9%減）に留まりました。損益面では、人件費並びに販売促進費の増加などにより営業利益は16百万円（前年同期比96.3%減）、支払手数料及び支払利息などの計上により経常損失は2億56百万円（前年同期は1億19百万円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は4億7百万円（前年同期は3億54百万円の利益）となりました。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの所在地域別セグメントの売上高の概要は、次のとおりです。

〔日本〕

日本では、製品別では主力製品であるxシリーズ・スイッチ製品群や無線LAN製品などの販売が好調となりましたが、中低位機種スイッチ製品群は振るいませんでした。顧客市場別ではエンドユーザーへのダイレクト営業の効果から医療・文教向けの売上が堅調となったものの、販売代理店への出荷は減少しました。この結果、日本の売上高は前年同期比4.0%減の110億70百万円となりました。

〔米州〕

米州では、製品別ではSFPモジュール製品の売上が好調となったものの、xシリーズ・スイッチ製品群やシャーシ型スイッチ製品の販売が大きく減少しました。また、南米での営業拠点の集約化に伴い、中南米での売上が減少しました。この結果、米州全体での売上高は前年同期比13.3%減の40億45百万円となりました。なお、上期に受注した公共交通システムの大型案件は、工事の進捗に応じて、主に第4四半期以降、段階的に売上を計上する見込みです。

〔EMEA（ヨーロッパ、中東及びアフリカ）〕

EMEAでは、製品別ではxシリーズ・スイッチ製品群の販売が伸長しました。国別では、営業体制の増強によりドイツで販売代理店向けの売上が堅調となったほか、フランスでパートナー企業との協業により公共案件を中心に売上が伸長しました。この結果、EMEA全体での売上高は前年同期比9.9%増の34億42百万円となりました。

〔アジア・オセアニア〕

アジア・オセアニアでは、製品別では産業用スイッチの販売が減少したものの、xシリーズ・スイッチ製品群やSFPモジュール製品の販売が増加しました。国別ではニュージーランドやタイで売上が減少したものの、インドでは堅調に推移し、マレーシアでは次世代型スマートマンション案件、インドネシアでは政府系機関のオフィスネットワーク案件などが好調となり売上が増加しました。この結果、アジア・オセアニア全体での売上高は、現地通貨ベースでは前年同期を上回ったものの、為替変動の影響による円換算額の減少により前年同期比2.2%減の17億40百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は220億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億43百万円増加となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が5億74百万円減少した一方で、商品及び製品が8億96百万円、仕掛品が2億6百万円、原材料及び貯蔵品が2億91百万円増加したことによるものです。

(負債)

負債合計は179億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億41百万円増加となりました。流動負債は125億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億円減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が3億52百万円、1年内返済予定の長期借入金が1億44百万円増加した一方で、短期借入金が14億58百万円減少したことによるものです。また、固定負債は54億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ23億41百万円増加となりました。これは主に、長期借入金が22億36百万円増加したことによるものです。

(純資産)

純資産につきましては、40億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億98百万円減少となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失により利益剰余金が4億7百万円減少したことによるものです。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ2.7ポイント低下となる17.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、現在23か国に子会社を保有し事業を展開しています。そのため、昨今の為替相場の急激な変動や米政権の保護貿易による世界経済への影響などから、当社グループを取り巻く事業環境が短期的に大きく変動するリスクがあります。このため、当期の業績予想につきましては、現時点(平成30年11月13日)で合理的な算定が困難であるため、公表を行っておりません。なお、合理的な業績の予想が可能となった場合には、速やかに公表する予定です。

配当につきましては、株主に対する利益還元を経営の重要な施策のひとつとして位置づけており、財務体質の強化と将来の事業展開に必要な内部留保を確保しつつ、安定した利益還元を継続的にを行うことを基本方針としています。しかしながら、繰越利益剰余金が欠損状況にあり、財務基盤の安定を最優先とすることから、当期につきましては配当を見送る予定です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,671,861	4,763,676
受取手形及び売掛金	5,478,573	4,904,207
商品及び製品	2,693,989	3,590,157
仕掛品	216,372	422,847
原材料及び貯蔵品	453,294	745,072
その他	1,293,577	1,459,157
貸倒引当金	△100,213	△99,354
流動資産合計	14,707,457	15,785,764
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,564,584	2,559,335
その他(純額)	1,524,760	1,468,586
有形固定資産合計	4,089,344	4,027,921
無形固定資産		
その他	77,549	70,436
無形固定資産合計	77,549	70,436
投資その他の資産		
その他	2,131,364	2,163,480
貸倒引当金	△13,111	△11,896
投資その他の資産合計	2,118,252	2,151,583
固定資産合計	6,285,146	6,249,942
資産合計	20,992,603	22,035,706
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,099,807	2,452,571
短期借入金	3,484,500	2,026,018
1年内返済予定の長期借入金	1,580,385	1,725,338
未払法人税等	267,950	194,147
賞与引当金	158,093	198,262
前受収益	3,695,048	3,831,701
その他	2,146,301	2,104,032
流動負債合計	13,432,087	12,532,073
固定負債		
長期借入金	1,880,809	4,117,401
退職給付に係る負債	655,381	633,288
その他	548,224	675,527
固定負債合計	3,084,414	5,426,217
負債合計	16,516,501	17,958,291

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,988,297	10,012,040
資本剰余金	168,583	192,326
利益剰余金	△6,158,167	△6,565,931
自己株式	△8	△8
株主資本合計	3,998,704	3,638,427
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	237,891	209,630
退職給付に係る調整累計額	△36,684	△32,411
その他の包括利益累計額合計	201,206	177,219
新株予約権	276,191	261,768
純資産合計	4,476,102	4,077,414
負債純資産合計	20,992,603	22,035,706

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
売上高	21,115,217	20,299,648
売上原価	7,849,406	7,381,316
売上総利益	13,265,810	12,918,332
販売費及び一般管理費	12,824,340	12,901,946
営業利益	441,470	16,385
営業外収益		
受取利息	1,580	1,295
助成金収入	5,365	8,778
保険返戻金	6,399	6,399
その他	9,345	4,913
営業外収益合計	22,689	21,387
営業外費用		
支払利息	81,619	87,213
為替差損	173,484	68,785
支払手数料	85,009	135,000
その他	4,859	2,896
営業外費用合計	344,972	293,895
経常利益又は経常損失(△)	119,187	△256,121
特別利益		
新株予約権戻入益	4,854	567
受取保険金	374,851	-
子会社清算益	-	66,540
特別利益合計	379,706	67,107
特別損失		
事業再編損	51,614	-
子会社清算損	-	6,386
その他	-	2
特別損失合計	51,614	6,389
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	447,279	△195,403
法人税、住民税及び事業税	190,466	232,881
法人税等調整額	△97,396	△20,521
法人税等合計	93,070	212,360
四半期純利益又は四半期純損失(△)	354,208	△407,763
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	354,208	△407,763

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	354,208	△407,763
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△19,666	-
為替換算調整勘定	△56,399	△28,260
退職給付に係る調整額	△1,574	4,272
その他の包括利益合計	△77,640	△23,987
四半期包括利益	276,568	△431,751
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	276,568	△431,751
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年9月30日)

配当金支払額

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年1月1日至平成30年9月30日)

配当金支払額

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	米州	EMEA(注)1	アジア・ オセアニア	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	11,535,590	4,667,652	3,132,358	1,779,617	21,115,217	—	21,115,217
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	602,517	58,179	56,619	6,145,495	6,862,812	△6,862,812	—
計	12,138,107	4,725,831	3,188,977	7,925,112	27,978,030	△6,862,812	21,115,217
セグメント利益又は損失(△)	△250,158	533,470	△446,928	469,234	305,617	135,852	441,470

(注) 1. ヨーロッパ、中東及びアフリカ。

2. セグメント利益又は損失の調整額には、セグメント間取引消去181,194千円及びセグメント間取引に係るた
な卸資産の調整額等△45,341千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年1月1日至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	米州	EMEA(注)1	アジア・ オセアニア	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	11,070,654	4,045,460	3,442,692	1,740,841	20,299,648	—	20,299,648
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	610,071	28,733	22,576	5,668,057	6,329,438	△6,329,438	—
計	11,680,725	4,074,194	3,465,268	7,408,898	26,629,087	△6,329,438	20,299,648
セグメント利益又は損失(△)	△975,838	497,883	△200,001	510,464	△167,491	183,877	16,385

(注) 1. ヨーロッパ、中東及びアフリカ。

2. セグメント利益又は損失の調整額には、セグメント間取引消去187,658千円及びセグメント間取引に係るた
な卸資産の調整額等△3,781千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。